

ぬいぬいワークショップ 子どもの成長を記憶する作品づくり ご取材のお願い

水戸芸術館現代美術センターでは、「ぬいぬいワークショップ 子どもの成長を記憶する作品づくり」を行います。

つきましては、御社メディアにてご取材・ご紹介いただきたくお願い申し上げます。詳細は下記をご参照ください。

ぬいぬいワークショップ 子どもの成長を記憶する作品づくり

お子さんとの今を記憶するワークショップです。

布に植物を縫いつけ、お子さんの身長と同じ長さの糸で運針をして作品をつくります。講師は縫うことで時の記憶や記録を表現するアーティスト、柵瀬茉莉子。柵瀬自身が2年前に男児をもうけ、我が子の成長記録として行っている運針からこのワークショップは生まれました。

子育てで忙しく日々を過ごす保護者の方たちに、作品をつくることによって子どもの誕生や成長を感じてもらう時間をつくる試みです。

日時：1月12日（土） 10:30～11:30 / 14:00～15:00

定員：各回 15組 ※定員に達したため受付終了しました

対象：0歳～2歳のお子さまとその保護者

協力：GALERIE PARIS、NPO法人子育て応援・ペンギンくらぶ、
水戸子育てネットワークみとこみ、常磐短期大学幼児教育保育学科有志



ワークショップイメージ



ワークショップ風景



作品



<柵瀬茉莉子（さくらい まりこ）プロフィール>

縫いのアーティスト。

1987年神奈川県横須賀市生まれ、横浜市在住。2012年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻クラフト領域（木工）修了。

刺繍を教えていた祖母の影響で、自身でも“縫うこと”や“縫いに内包される時間”について興味をもち制作を続ける。

主な展示として「木を縫う」（2011・GALERIE PARIS、神奈川）、「この土地の温度を感じて」（2015・はじまりの美術館、福島）。2015年にはワークショップ「学校の木と縫いの実験教室」を水戸市内の小学校3校にて行う。

【お問合せ】※取材ご希望の方は鳥居までご連絡ください。

■ 企画について：佐藤麻衣子、森山純子（水戸芸術館現代美術センター教育プログラムコーディネーター）

■ 広報・写真貸出について：鳥居加織 email: cacpr@arttowermito.or.jp

■ 水戸芸術館現代美術センター：Tel. 029-227-8120 Fax. 029-227-8130